

〈実践編〉納戸⑤

納戸の整理収納実践編がよいよ最終回。片付けの際のポイントや読者モニターの声を紹介する。

納戸A 見える化で把握しやすく



完成!

片付け前は衣類や仕事関係の備品など、たくさんのもで溢れていた。納戸Aには中身の見える衣装ケースを用いて、衣類や思い出の品などを種類別に仕分け。使用頻度の低いケースから下段に配置した。対面には新たにスチールラック(納戸Bと合わせて12,532円)を購入。着物や小箱などを収納し、S字フックを活用して物を吊り下げられるよう工夫した。

納戸B 動線を意識した備品倉庫



元は部屋だった6畳ほどのスペースは、仕事で使う備品置き場として整理。クローゼットも有効活用し、スチールラックを使うことで取り出しやすい配置へと整理した。空きスペースができたことで、趣味が満喫できるようになった。

次号予告 実践編・キッチン脇の収納スペース

少しの工夫で驚くほど快適に!
vol.69

くらしの整理収納術

整理収納アドバイザー・住まい方アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile/1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工法人代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生で山形県唯一の「住まい方アドバイザー」。



納戸Bのクローゼットは冷蔵庫を移動してラックで備品管理♪



納戸の片付けポイント!

- 1 ケースに入れるのは1ジャンルのみ。ラベルを貼って簡単把握!
- 2 スリムなラックを使って収納場所を増やそう。
- 3 よく使うものを軸に配置を考える。
- 4 一つ一つの寸法をしっかりと測る。
- 5 実際に人がどう動くのか想像しながら整理を。

読者モニターの感想

- ・動線がしっかりとしたので使いやすくなった。
- ・納戸Aは奥までの通り道ができたので、物が取り出しやすくなった。
- ・ラックなどで上まで収納できたので「もったいないゾーン」が無くなった。
- ・趣味スペースも確保できてうれしかった。